

## ニホンザル小委員会の開催結果（概要）

- 1 開催日時 平成 28 年 11 月 21 日（月）  
午後 1 時 30 分から午後 3 時 40 分
- 2 開催場所 千葉県森林会館 5 階第 1 会議室  
千葉市中央区長洲 1-15-7
- 3 出席者  
【委員】羽山伸一委員（委員長）、川本芳委員、役山多佳志委員、  
榎本文夫委員、鎌田薫委員、山田一郎委員、茂木雅宏委員、  
  
【 県 】 野溝自然保護課長、廣田副課長（鳥獣対策）、他自然保護課職員
- 4 議 案  
議案第 1 号  
第 4 次千葉県第二種特定鳥獣管理計画（ニホンザル）（案）の策定に  
ついて
- 5 審議結果  
上記 4 の議案について審議がなされ、原案に修正を加えたうえで別添修正議案に  
より議決された。
- 6 その他  
第 1 号議案については、平成 29 年 3 月 10 日開催予定の千葉県環境審議会鳥獣  
部会での審議が必要であるため審議結果を報告する。
- 7 主な質疑  
Q ニホンザルの群れはどのくらいいるのか。  
A 平成 12 年度の調査の調査では、87 群。過去に発信器を装着して群れを調査した  
結果も考えると、今把握している群れよりも、もっと多くの群れがいると考えて  
いる。  
  
Q アカゲザルとニホンザルの群れの位置関係と交雑対策について  
A アカゲザルは、館山市の一部と旧白浜町と旧千倉町に生息している。交雑対策を  
進める上では、元になるアカゲザルの対策を進めることがもっとも重要と考えて  
いる。なお、アカゲザルの対策は特定外来生物の計画に基づいて実施している。  
  
Q 安房農業事務所（地域野生鳥獣対策連絡会議）などにも、サルの群れ管理ができ  
る者を配置するのか。

A 現時点では、例えば来年の春からそのような職員を配置するという事にはなっていない。ただし、計画にも記載した職員に対する研修等により、県の出先の職員にも群れ管理の考え方を理解している職員がいるようにしていきたい。

Q 資料によれば、ニホンザルの交雑率は 30～70%の交雑率が出ている。これによると千葉県にはほとんどニホンザルがいないという状況で、生物学的には交雑率が 30%を超えたら 5 年で千葉県のニホンザルはいなくなってしまうのではないか。

A 過去のモニタリング結果から、比較的交雑率が高そうな地域の鋸南と勝浦を決め打ちで調査した結果であり、千葉県全体がこのような状況ということにはならない。

Q 追い払い・追い上げ犬とあるが、千葉県では使われたという実績があるのか。

A 今まで聞いている中では、利用はない。

Q 捕獲をすることが、調査にも研究にも役に立つので、捕獲の部分を詳しく記載しないとイケないのではないか。

この計画を作成するのであれば、調査、捕獲、人材育成に対して、熱が冷めないうちに、ある程度（頭数が）減るような事業の裏付け（予算確保）も講じてほしい。

A 捕獲を進める上では、群れの把握をしっかりする必要があるので、まず群れの把握を最優先に進め、予算確保していきたい。テレメーターの装着には、現在も補助制度を用意しているが、市町村で捕まえたものに、県がテレメーターをつけていくというような連携を強化していく。

捕獲方法は、小型檻を中心に考えているが、これは地域の状況にあった方法で捕獲方法を決め、進めていきたい。

## 8 修正箇所

ページ数	修正前	修正後
P13、P25	環境省地方環境事務所	環境省関東地方環境事務所
P19	表一 7 「加害レベル判定表」の ポイント「1～5」	表一 7 「加害レベル判定表」の ポイント「0～4」
P22	地域野生鳥獣対策協議会	地域野生鳥獣対策連絡会議
P23	計画期間の終期「平成 29 年 3 月 31 日」	計画期間の終期「平成 34 年 3 月 31 日」
P25	有害捕獲	許可捕獲
P25	ニホンザル小委員会の引用箇所の修正	